

科目名	電気電子システム工学実験	科目コード	21030
------------	---------------------	-------	-------

学科名・学年	電気工学科・3年	担当教官	電気電子システム工学科 全教員		
単位数	4単位・必修	開講期間	通年	時間数	120時間
				内訳(時間)	講義(0), 演習(0) 実験(120), その他(0)
教科書					
補助教材	実験テキストを配布する。				
参考書					

A 科目の概要	
<p>講義を主体とする理論の学習と実験による理論の実証とを有機的に結合させて学習の理解を深め一層の定着を図る。受講に際しては、事前に各テ・マの目的を理解し、実験を通して正しい観察力や直感力を身につけてもらう。実験終了後は、直ちに測定デ・タのグラフ化を行い、グラフから読み取れる実験結果に自分なりの検討・考察をまとめる必要がある。</p>	
B 到達目標	
<p>電気機器などの取り扱いに習熟し、回路図を見て実験機器の配置と接続が正しく行えるようになること。 予習や講義で得た知識をもとに、自分が実験して得たデータを詳細に解析し、それぞれの現象の本質やメカニズムを理解する能力を会得すること。</p>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	()
D 履修上の注意	
<p>各テーマには、基礎的なことから高度な内容のものまでが含まれている。実験内容で良くわからないことがあれば、どんどん質問することである。この授業が技術者としての基礎的能力や自主性の向上に役立つことを願っている。</p>	
E 評価方法	
<p>電気機器などの取り扱いに習熟し、回路図を見て実験機器の配置と接続が正しく行えているかをレポートにより確認し、評価する。(50%) 予習や講義で得た知識をもとに、自分が実験して得たデータを詳細に解析し、それぞれの現象の本質やメカニズムを理解する能力をレポートにより確認し、評価する。(50%) 各テーマ終了後提出する実験レポートの提出期限の遵守、結果のまとめと考察、課題に対する解答内容により評価する(100%)。最終成績はテーマごとの評価を平均し、科内会議で決定する。なお実験実習であることから全てのテーマに対して出席は必須とし、遅刻・無断欠席した場合には、レポートの評価点を大幅に減点することとする。 50点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	統合ソフトを用いた実験報告書作成	
2	統合ソフトを用いた実験報告書作成	
3	半導体素子の静特性	第3週以降、2週間で1テーマの班別実験
4	半導体素子の静特性	
5	デジタルICの基礎	
6	デジタルICの基礎	
7	受動素子測定 ^① の基礎	
8	受動素子測定 ^① の基礎	
9	RLC回路の定常特性	
10	RLC回路の定常特性	
11	A/D変換の基礎	
12	A/D変換の基礎	
13	アナログ電子回路の基礎	
14	アナログ電子回路の基礎	
15	作動増幅回路	
16	作動増幅回路	
17	低抵抗・高抵抗の測定	
18	低抵抗・高抵抗の測定	
19	回路の過渡応答特性	
20	回路の過渡応答特性	
21	ロボット制御の基礎	
22	ロボット制御の基礎	
23	直流機の運転と特性	
24	直流機の運転と特性	
25	変圧器の原理と特性試験	
26	変圧器の原理と特性試験	
27	自由課題	
28	自由課題	
29	報告書作成	
30	授業アンケートの実施	